

## 1 沿革

佐賀県衛生薬業センターは、平成13年、佐賀県衛生研究所と佐賀県薬業指導所が統合し、現在に至っている。

衛生研究所の前身は元警察部衛生課に属し、細菌検査室と衛生試験室に分かれて業務を行っていた。のちに、内務部へ、終戦後は衛生行政の拡充に伴い教育民生部衛生課に移管された。

地方衛生研究所設置要綱(昭和23年4月7日厚生省発予第20号)に基づき、細菌検査・衛生試験を強化するため、検査・試験両室を統合整備して、昭和23年10月22日佐賀県衛生研究所(県庁構内)が発足した。

一方、佐賀県薬業指導所の前身である佐賀県立売薬研究所は昭和7年佐賀市に設立された。

昭和24年4月 総務課、試験検査課の2課制となる

昭和27年 薬業指導所の設置(鳥栖市大正町)

昭和36年3月 試験検査課が細菌検査室と理化学検査室に分かれる

昭和38年10月 総務課、微生物検査課、理化学試験課の3課制となる

昭和40年6月 衛生合同庁舎(佐賀保健所、衛生研究所)の新設に伴い移転(佐賀市水ヶ江一丁目)

昭和42年 薬業指導所の移転(鳥栖市宿町)

昭和45年9月 公害検査課が新設され4課制となる

昭和49年4月 佐賀県公害センター設置に伴い公害検査課は公害センターに移管され3課制となる

昭和58年12月 衛生合同庁舎(佐賀中部保健所、衛生研究所、精神保健福祉センター)の新設に伴い移転(佐賀市八丁畷町)

平成13年7月 薬業指導所を統合し、医薬品課を新設、「佐賀県衛生薬業センター」に名称変更

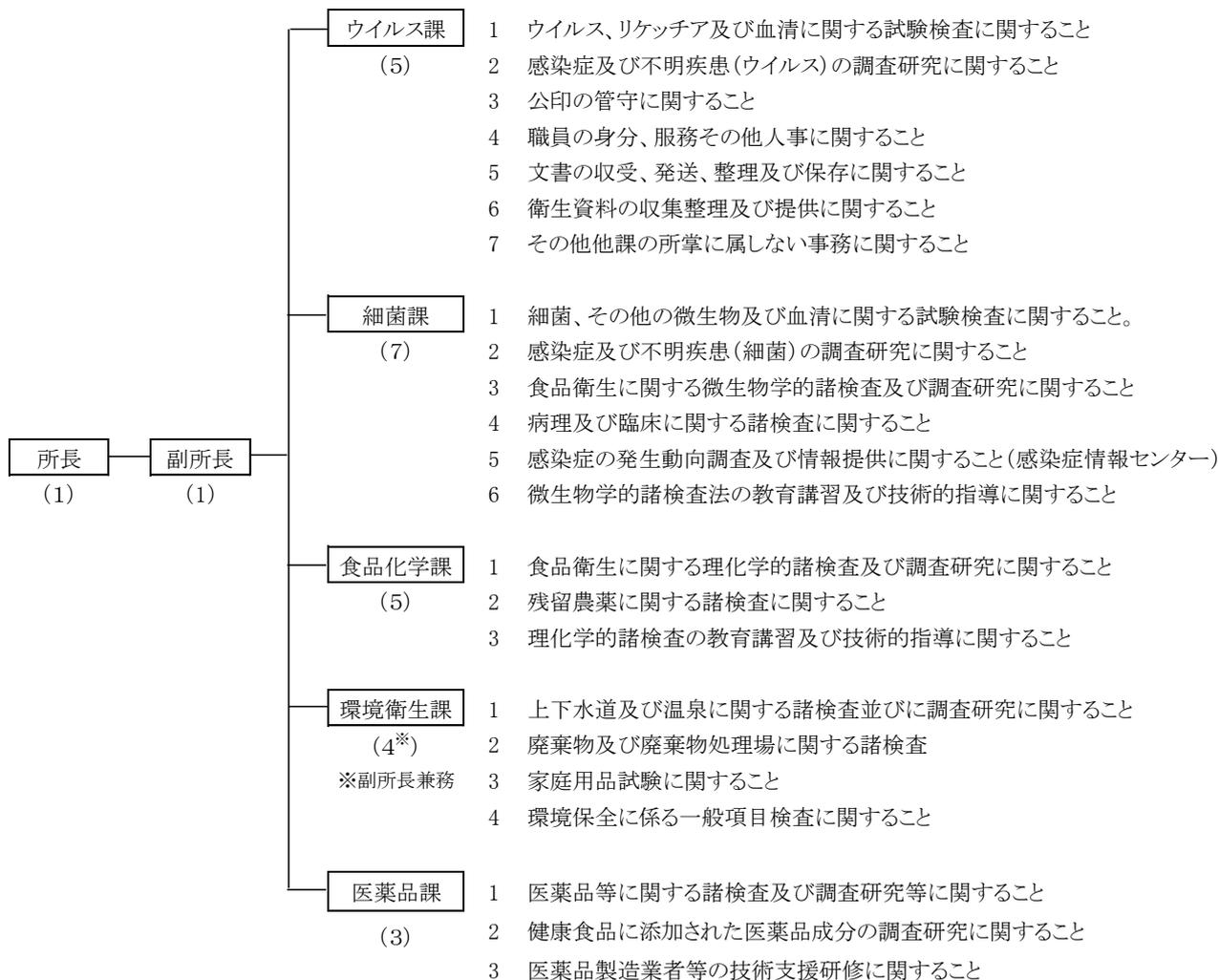
平成14年4月 総務課が廃止され、微生物課、理化学課、医薬品課の3課制となる

平成22年4月 佐賀中部、唐津、杵藤保健福祉事務所の検査室が統合されて、ウイルス課、細菌課、食品化学課、環境衛生課、医薬品課の5課制となり、検査室も増える

(歴代所長)

- 山口 伊典 (昭和24年4月～昭和27年6月)
- 西村 信一 (昭和27年6月～昭和28年1月)
- 清水 正一 (昭和28年2月～昭和55年3月)
- 佐藤 一江 (昭和55年4月～昭和60年3月)
- 佐柳 進 (昭和60年4月～昭和60年12月)
- 本村 資光 (昭和60年12月～平成元年4月)
- 土田 龍馬 (平成元年4月～平成6年3月)
- 石塚 正敏 (平成6年4月～平成8年7月)
- 金井 雅利 (平成8年8月～平成11年7月)
- 山崎 勝彦 (平成11年8月～平成14年3月)
- 山口 博之 (平成14年4月～平成16年3月)
- 下平 裕之 (平成16年4月～平成17年3月)
- 久保 康典 (平成17年4月～平成18年3月)
- 藤原 義行 (平成18年4月～平成20年3月)
- 武田 裕二 (平成20年4月～平成22年3月)
- 轟田 清典 (平成22年4月～平成24年3月)
- 古川 義朗 (平成24年4月～平成25年3月)

### 3 組織及び業務



### 4 職員の構成

区分	獣医師	薬剤師	臨床検査技師	理工系	技術員等	計
所長		1				1
副所長				1 (環境衛生課長兼務)		1
ウイルス課	1		3		1	5
細菌課			6		1	7
食品化学課		5				5
環境衛生課		1		1	1	3
医薬品課		3				3
計	1	10	9	2	3	25